

BEE 110

12V 車専用

取扱説明書／保証書
HORNET
Bee Sensor

この度は BEE110 をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本製品は車内に装着し、衝撃やドアの開放を検知すると威嚇 LED およびサイレン音による警告・警報を発し、車上ねらいや車両盗難等を抑制する簡易型防犯警報装置です。

本書には取り付けおよび操作手順が説明されております。正しくご使用いただくために本書をよくお読みのうえご使用ください。また読み終えた後、いつでも見られるよう大切に保管してください。

⚠ 注意

本製品は車体への衝撃やドアの開放を検知し警報を行う装置です。車上ねらいや車両盗難等への防犯効果は多大ですが、完全に防止できるものではありません。また本製品の作動の有無にかかわらず車両盗難、車上ねらい、車両へのイタズラ等が発生しても、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

本書の見かた

⇒ PXX	参照先を記載しています。(XX はページ)
 ヒント	本製品に関する補足情報を説明しています。

目 次

ご使用上の注意	2	衝撃センサーの感度を変更する	22
梱包内容	4	空気圧センサーの感度を変更する	22
メインユニット	4	威嚇 LED の点滅パターンを変更する	23
リモコン	4	充電中の LED 点灯表示を変更する	23
付属品	6	迷惑防止機能	24
ご使用の前に	7	警報履歴を確認する	25
リモコンの電池を交換する	7	緊急時の警報音停止方法	25
通信範囲	8	付録	28
メインユニットに専用バッテリーを 取り付ける	9	輸入車モード	28
メインユニットを充電する	10	こんなときは？	30
取り付け	12	お買い上げ時の設定一覧	30
取り付け概要図(参考例)	12	故障かな?と思ったら	31
メインユニットを取り付ける	13	製品仕様	32
基本操作	15	お問合せ先	32
警戒モードを設定する	15	アフターサービスについて	33
警戒モードを解除する	16	保証規定	34
警報動作を停止する	17		
警報動作について	18		
応用操作	19		
設定方法	19		
警戒パターンの設定を変更する	20		
自動で警戒モードに設定する (ハッシュ機能)	21		
サイレン音の ON/OFF 設定	21		

KATO-DENKI

ご使用上の注意

ご使用の前に、この「ご使用上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、注意事項には危害や損害の大きさを明確にするために誤った取り扱いをすると生じる、または想定される内容を「警告」・「注意」の2つに分けています。

⚠ 警告 警告を無視した取り扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う原因となります。

⚠ 注意 注意を無視した取り扱いをすると、使用者が障害や物的損害を被る可能性があります。

⚠ 警告

事故・火災等の危険性があるため、下記の状態や場所での使用は避けてください。

- 本製品を分解、改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 運転中は、本製品を絶対に操作しないでください。わき見運転は、事故の原因となります。
- 本製品は、運転や視界の妨げにならず、車両の機能（エアバッグ等）の妨げにならない場所に取り付けてください。事故や怪我の原因となります。
- 本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・車両故障の原因となります。
- 本製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 本製品を医療機器の近くで使用しないでください。電波により医療機器に影響を与える恐れがあります。
- 本製品を不用意に人や動物の近くで作動させないでください。聴覚障害になる恐れがあります。

⚠ 注意

機能面に支障を起こす可能性がある下記の使用に十分注意してください。

- メインユニット本体・リモコン本体・シガープラグコードに、お買い上げの日から1年間の保証がついています。その他の付属品（⇒P6）は保証の対象外となります。あらかじめご了承ください。
※シガープラグコードを改造した場合は、保証対象外になります。
- 保証書には、必ず「お買い上げ日」が記入されているか、記載の内容をご確認いただき、大切に保管してください。
- 他のセキュリティシステムとの併用は行わないでください。誤警報の原因となります。
- 本製品はオープンカー等、密閉性の低い車両では使用できません。
- メインユニットに専用バッテリーを入れる時、ネジにあったプラスドライバーが必要になります。
- 指定の電池および充電池以外は使用しないでください。
- 本製品は12V車のみ使用可能です。24V車には使用できませんのでご注意ください。

⚠ 注意

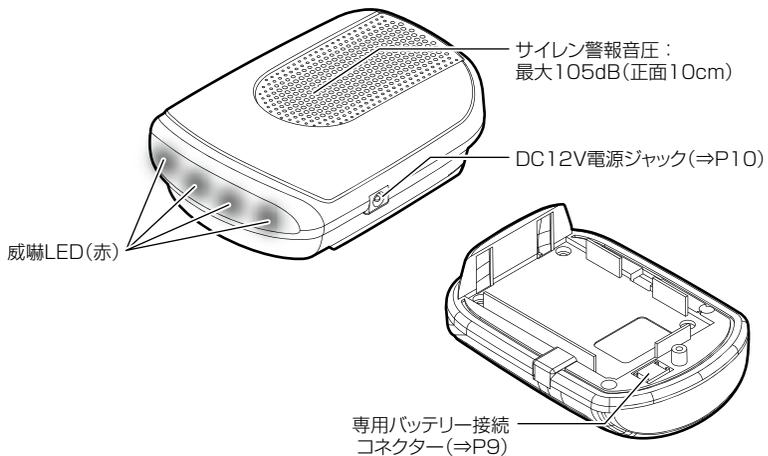
- 本製品を充電中に警戒モードに設定することはできません。
- キーをOFFにした時に車両シガーソケットの電源が0Vにならない車は、車両バッテリーを保護するため、エンジンを始動していない時は必ずシガープラグコードを抜くか、本体の設定を「輸入車モード」(⇒P28)に切替えて使用してください。
- 強い雨や雪、ヒョウなどを検知して警報を発する場合があります。また地下駐車場や空調ファンの振動や音が発生している場所、またはその他の振動・騒音が発生している場所、車やバイクの改造マフラー音などを検知して警報を発する場合があります。
- テストの際はガラスやボディなどが破損しないように十分注意してください。当社では万一破損などが発生しても責任は一切負いかねます。
- メインユニットやリモコンを直射日光が当たる場所に設置・放置しないでください。
- 本製品の取り付けは、確実に固定してください。固定が不十分な状態であると誤作動の原因となります。
- 本製品を修理・点検依頼された場合、修理期間中の別商品の貸出(代替品)などのサービスは行っておりません。
- 本製品の作動の有無にかかわらず、車両盗難・車上狙い等が発生しても、当社では責任を一切負いかねます。
- 本製品は防水加工されていません。雨、水等のかかる場所や濡れた手で操作は避けてください。またリモコン内部に水分が侵入した場合、故障の原因となり修理不可となります。
※急激な温度変化による結露や汗をかいた手で触ったり、ポケットなどに入れた状態で雨や汗による蒸れ等によって内部に水分が浸透する恐れがありますのでご注意ください。
- 工場出荷時、メインユニットのバッテリーはテスト用の充電しかされておられません。商品の状態(自然放電等)によっては電池容量不足で作動しない場合がありますので、初めて使用する時は必ずメインユニットのバッテリーを充電してください。
- 部品の交換修理、パーツの購入に関しては、購入先にお問い合わせください。
- 本製品の仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。ご了承ください。

⚠ 電波法について

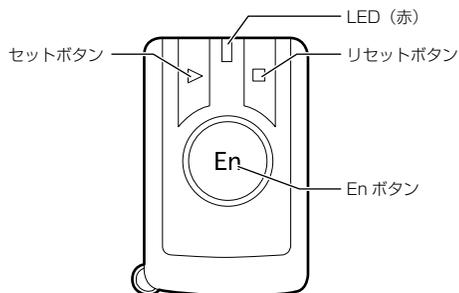
- 分解したり改造することは電波法で禁止されています。改造して使用すると電波法により罰せられることがあります。
- 海外では使用しないでください。

梱包内容

メインユニット



リモコン



リモコン操作一覧

作動内容		操作方法	詳細	
警戒モードの設定 (迷惑防止機能なし)		En ボタン⇒▶ボタン	P15	
警戒モードの設定 (迷惑防止機能あり)		▶ボタン⇒En ボタン	P24	
警戒モードの解除		En ボタン⇒■ボタン、 または■ボタン⇒En ボタン	P16	
警報を止める		警戒モードの設定操作または警戒モードの解除操作	P17	
警報履歴を確認する		警戒モード解除中に En ボタン⇒■ボタン	P25	
// 消去する		警戒モードの設定を行う	P25	
設定 操作	警戒パターンを設定を変更する	En ボタン + ■ボタンを 5 秒長押しする	▶ボタンまたは ■ボタンを押すことで 設定内容を変更する ▶ボタン：順送り ■ボタン：逆送り	P20
	衝撃センサーの感度を変更する	▶ボタンを 5 秒長押しする		P22
	空気圧センサーの感度を変更する	■ボタンを 5 秒長押しする		P22
	威嚇 LED の点滅パターンを変更する	▶ボタン + ■ボタンを 5 秒長押しする		P23
	メインユニット充電中の LED 表示を変更する	En ボタン + ▶ボタン + ■ボタンを 5 秒長押しする		P23
	通常モード / 輸入車モードを選択する	En ボタン + ▶ボタンを 5 秒長押しする		P28
	変更した設定内容を登録する	En ボタンを 5 秒長押しする		—

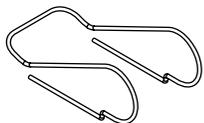
⚠ 注意

設定操作を行った際、メインユニットが無くてもリモコンのみ設定モードに入ります。リモコンが設定モードに入っている（リモコンの LED が点灯している）場合、警戒モードの設定 / 解除操作等はいえません。リモコンの LED が点灯している時は、En ボタンを 5 秒長押しする、または 30 秒待って設定モードを終了してから操作を行ってください。

梱包内容

付属品

サンバイザーステー (1 個)



※出荷時メインユニット
電池カバーにセット
されています。

メインユニット用
専用バッテリー (1 個)



メインユニット電池カバー (1 個)



メインユニット電池カバー固定用ネジ
(1 個 / M2 × 6mm)



シガープラグコード (1 個)
(約 4m/1A ヒューズ内蔵)



リモコン用ボタン電池 (1 個)
(CR2025)



※出荷時リモコンにセットされています。

両面テープ (1 枚)
(メインユニット固定用)



ご使用の前に

リモコンの電池を交換する

製品購入時には、リモコンの電池は装着されています。電池を交換する場合は以下の手順に従って電池を装着してください。

- 1) 電池カバーを矢印の方向へスライドさせて取り外します。

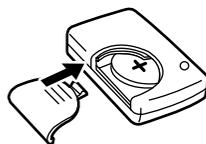


- 2) リモコンから古い電池を取り外し、新しい電池 (CR2025 × 1 個) を、電池カバー側が + になるようにしてセットします。



※電池カバー側を+にする

- 3) 電池カバーを矢印の方向からスライドさせて取り付けます。



⚠ 注意

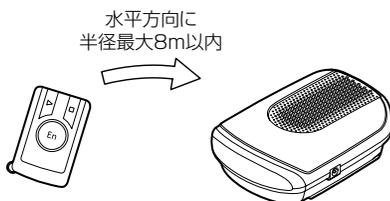
- ・指定電池 (CR2025) 以外は使用しないでください。
- ・新品の電池を使用した場合、1日8回のスイッチ操作で約1年の使用が可能です。(使用条件により電池寿命は異なります)
- ・リモコンを長時間使用しないときは、電池を取り外して保管してください。
- ・工場出荷時はテスト用の電池をセットしていますので電池自体が自然放電して電池寿命が約1年間を下回る場合があります。
- ・電池は消耗品です。約1年程度で交換することをお勧めします。

ご使用の前に

通信範囲

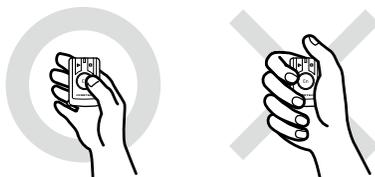
リモコンからメインユニットへの無線通信には、微弱電波を使用しているため通信範囲は半径最大 8m 以内（サンバイザー取り付け時）です。

※ 通信範囲当社測定による最大値です。取り付け場所や周囲環境によって通信範囲は変化します



📖 ヒント

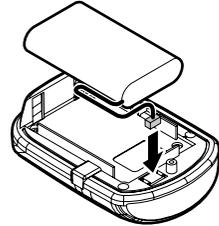
- ・ 通信範囲はメインユニットの取り付け場所やピラー等の障害物の有無によって極端に短くなる事があります。
- ・ リモコンを操作する場合は、電波の送信性を安定させるためにリモコンケースを手で包み込む事のないように操作してください。



メインユニットに専用バッテリーを取り付ける

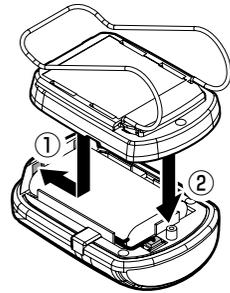
本製品を使用する前に、専用バッテリーをメインユニットに取り付けてください。

- 1) メインユニットにバッテリーコネクターを接続し、ケース内にバッテリーコードを挟まないようにバッテリーを入れます。

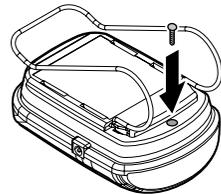


- 2) 先にバッテリーカバーのツメをメインユニットに掛け (①)、その後バッテリーカバーを閉じます (②)。

※バッテリーカバーを閉じる際、バッテリーコードをかみ込まないように注意してください。



- 3) バッテリーカバーを付属のネジ (M2 × 6mm) で締めてください。



⚠ 注意

- コネクターには極性がありますのでコネクターの凹凸に合わせてください。
- 専用バッテリーは消耗品です。2時間以上充電をしてもすぐに作動しなくなる場合や充電ができなくなった場合は新しい専用バッテリーと交換してください。
- 専用バッテリーの購入に関しましては、購入先にてご注文ください。
- 本製品は専用バッテリーを使用しています。安全のため専用バッテリー以外は使用しないでください。

ご使用の前に

ご使用前に必ず十分な充電を行ってください。

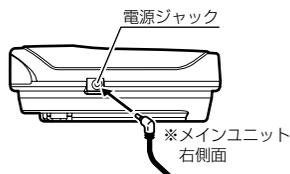
- 本製品は、お買い上げ時には検査用予備充電しかされていませんので、使用前には必ず充電を行ってください。
- 初めて使用する時や内蔵バッテリーが消耗した時は、必ず付属のシガープラグコードを使用し、エンジンを始動した状態で充電を行ってください。
- 充電は電池の状態によって、急速充電・トリクル充電を行い、約2時間で満充電となります。また1時間程度の充電でも使用できますが、動作時間は短くなります。
※急速充電中は充電電流が大きくなり、ケースが熱くなる事がありますが故障ではありません。

⚠ 注意

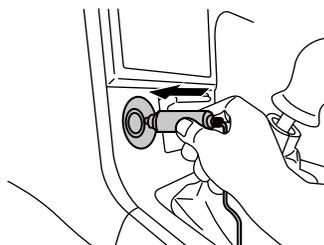
充電中はすべての操作が行えません。

メインユニットを充電する

- 1) メインユニットの電源ジャックに付属のシガープラグコードを差し込みます。



- 2) 車両シガーソケットに付属のシガープラグコードを差し込みます。

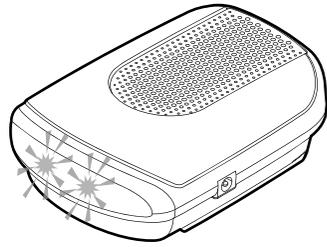


- 3) 車両のエンジンを始動した状態で充電を行ってください。



- 4) メインユニットの充電が開始されると、中央 2 つの威嚇 LED が点灯します。

※ LED が点灯しない場合、【故障かな?と思ったら】(⇒ P31) の「メインユニットの充電ができない」をご確認ください。

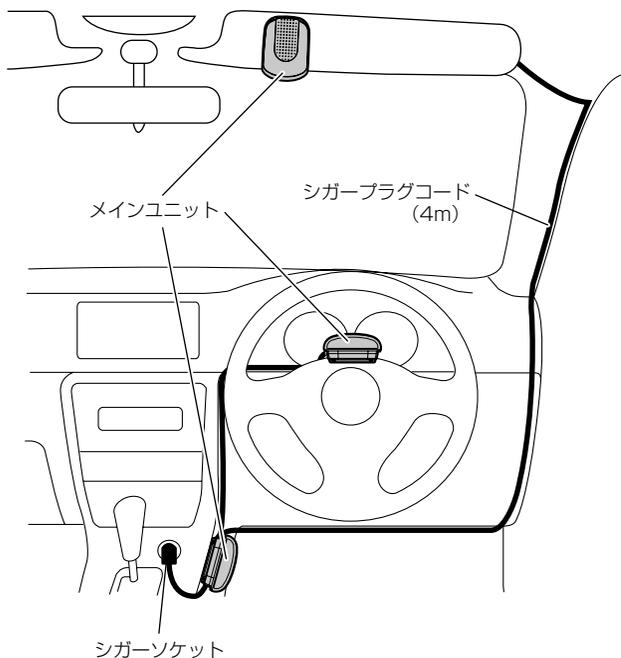


ヒント

- ・警戒状態を長期間保つために、走行中に充電（常時シガープラグコードを接続）する事をおすすめします。
 - ・充電中の威嚇 LED は設定により、常時点灯・30 秒点灯に切替えることができます。
【初期設定：充電開始から 30 秒点灯】(⇒ P23)
 - ・本製品を満充電した時の連続警戒時間（※）は約 7 日間です。
- ※ 無警報での監視状態の継続時間。警報動作によって連続警戒時間は短くなります。

取り付け

取り付け概要図（参考例）



📖 ヒント

シガーソケットの無い車や、キーを OFF にした時に車両シガーソケットの電圧が 0V にならない車は、車両バッテリーを保護するため、エンジンを始動していない時は必ずシガープラグコードを抜くか、本体の設定を「輸入車モード」(⇒ P28) に切替えて使用してください。

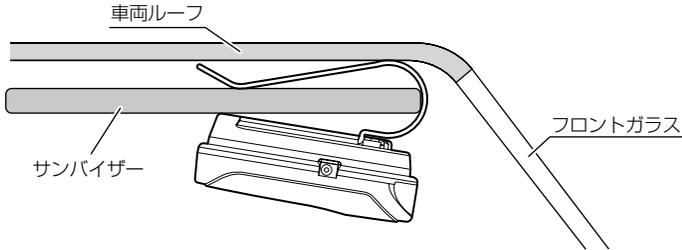
⚠ 注意

本製品の取り付けは必ず、他の電子機器から 30cm 以上離して設置してください。リモコンの操作できる範囲が短くなったり、操作できなくなったりする恐れがあります。

メインユニットを取り付ける

サンバイザーに取り付ける場合

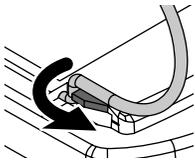
1) サンバイザーにメインユニットを取り付け固定します。



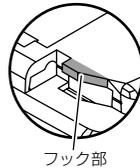
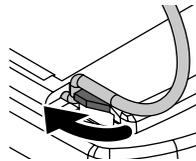
⚠ 注意

- ・サンバイザーステーの取り外し・取り付けを行う場合は、無理に引き抜いたり、押し込んだりしないでください。メインユニットのサンバイザーステー固定用フックが破損する恐れがあります。
- ・サンバイザーステーを外側に力を加え、たわませて、フック部を回避するように取り外し・取り付けを行ってください。

◇取り外し



◇取り付け



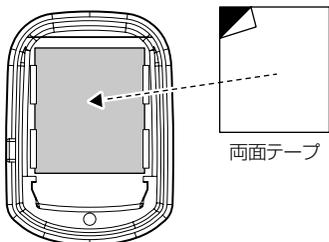
この辺りに力を加えると外しやすい

※サンバイザーステーはフック部を回避するように取り外し、取り付けを行ってください。

取り付け

センターコンソール側面等に取り付ける場合

- 1) メインユニットからサンバイザーステーを取り外し、両面テープを貼りつけます。

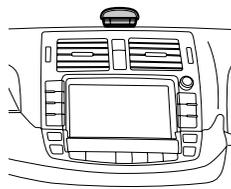
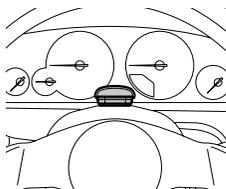
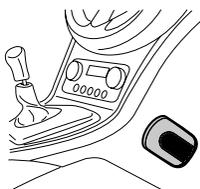


- 2) **エアコン吹出し口以外**の任意の場所にメインユニットを固定します。

例) センターコンソール側面

例) ハンドルコラムカバー上面

ダッシュボード上



▼ ヒント

真夏の炎天下等、本製品に長時間直射日光が当たる場所に駐車する際は、サンシェード等で直射日光が製品に当たらないようにすることをおすすめします。

⚠ 注意

- 真夏の炎天下等、長時間直射日光や高温にさらされる場所へ取り付けを行うと、センサーの感度が落ちる場合があります。あらかじめご了承ください。
- 結露等によりメインユニット故障の恐れがありますので、エアコン吹出し口やその付近に取り付けられない様に注意してください。
- 取り付けする場所や素材によって両面テープで固定できない場合があります。そのような場合はサンバイザーへ取り付けを行ってください。
- 運転や視界の妨げにならない場所に取り付けてください。また、自動車の機能（エアバッグ等）の妨げにならない場所に取り付けてください。事故や怪我の原因となります。

基本操作

警戒モードを設定する

すべての窓を閉めてエンジンを切り、降車してすべてのドアをしっかり閉めてください。窓が開いていると車内の気圧の変化や衝撃を正しく検知できません。

※ メインユニット充電中は操作できません。

1) 【En ボタン】 を押し、LED が点滅中に、【▶ ボタン】 を押します。

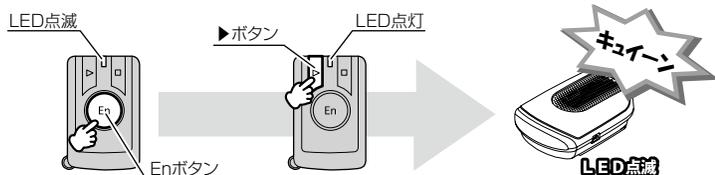
・ リモコンの LED が点灯します。

※ リモコンの電池が無くなってくると点灯が早い点滅に切替わります。

・ メインユニットサイレンから「キューーン♪」と音が鳴ります。

・ 威嚇 LED が全点滅してキャンセルタイマーが開始されます。(約 10 秒間)

・ 威嚇 LED が設定したパターンで点滅 (⇒ P23) し、警戒モードとなります。



ヒント

- ・ キャンセルタイマー中は、威嚇 LED が約 10 秒間全点滅します。このとき、各種センサーは異常を検知しません。
- ・ キャンセルタイマー中に再度リモコンで警戒モードの設定操作を行うと、10 秒間待たずに警戒モードに移行します。
- ・ 【▶ ボタン】 を押した後、【En ボタン】 を押す事で迷惑防止機能ありの警戒モードに移行することができます。(⇒ P24)
- ・ 内蔵バッテリーの充電がなくなってくると、警戒モードの設定/解除時の動作が変化します。(⇒ P16)

⚠ 注意

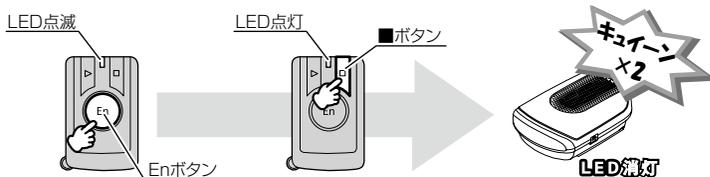
ターボタイマー装備車は、ターボタイマー作動中にセキュリティの警戒モードに設定することはできません。パッシブ機能 (⇒ P21) を使用するか、ターボタイマー終了後、リモコンの操作にて警戒モードの設定を行ってください。

※ シガープラグコード接続時のみ

基本操作

警戒モードを解除する

- 1) 【En ボタン】 を押し、LED が点滅中に、【■ボタン】 を押します。
 - ・ リモコンの LED が点灯します。
 - ※リモコンの電池が無くなってくると点灯が早い点滅に切替わります。
 - ・ メインユニットサイレンから「キューーン、キューーン♪」と音が鳴ります。
 - ・ 威嚇 LED が消灯します。



※ 【■ボタン】 を押し、LED が点滅中に、【En ボタン】 を押す事でも解除できます。

内蔵バッテリーの充電がなくなると

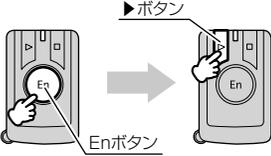
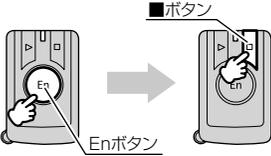
メインユニットの内蔵バッテリーの充電がなくなってくると、下記のように動作が変化します。その際は必ずメインユニットのバッテリーの充電を行ってください。

- ・ 警戒モードの設定／解除操作の時にメインユニットのサイレン音が、『ブッ』／『ブッブ』に切替わります。また設定登録時の音も『ブッ』に変わります。
- ・ 警戒モード設定時のキャンセルタイマー中の LED 点滅も通常より早くなり、お知らせします。
- ・ 設定変更時、メインユニットから「ブッ」 と音がした場合は内蔵バッテリーの充電が無くなっています。充電後再度設定を行ってください。

警報動作を停止する

警報を停止する場合、警戒モードの設定操作または警戒モードの解除操作を行うか、キーを ACC ポジション（※）にしてください。

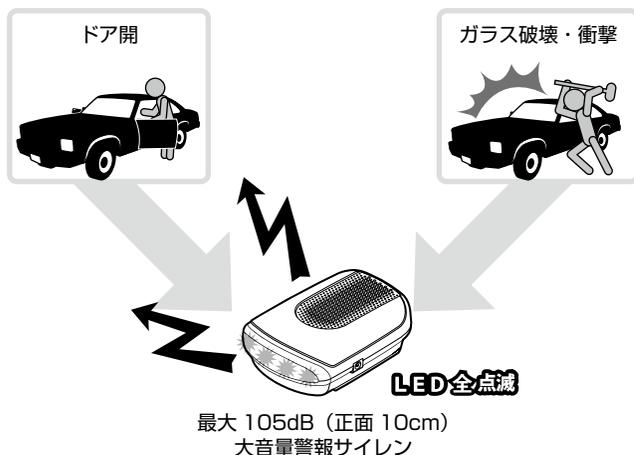
※ シガープラグコード接続時のみ。

操作内容	状態
 <p>▶ボタン</p> <p>Enボタン</p>	<p>【En ボタン】を押した後、 【▶ボタン】を押す。</p> <p>警報動作が停止し、警戒モードに移行します。</p>
 <p>■ボタン</p> <p>Enボタン</p>	<p>【En ボタン】を押した後、 【■ボタン】を押す。 または【■ボタン】を押した後、 【En ボタン】を押す。</p> <p>警報動作が停止し、警戒モードが解除されます。</p>
 <p>ACC</p>	<p>キーをACCポジションにする。 ※ シガープラグコード接続時のみ。</p>

基本操作

警報動作について

警戒モード中に窓ガラス破壊・車体への衝撃やドア開を検知したときには、警報動作〔威嚇LEDが短い間隔で全点滅し、サイレンは最大105dB（正面10cm）で鳴動〕を発します。警報動作は約30秒後に停止しますが、警戒モードは継続していますので、再度異常を検知すると警報動作します。



警戒モード設定中に衝撃を検知した時やドアが開いた時に、下記表の動作や表示を行います。警告、警報後は警戒モードに戻り、再度異常を検知すると警告、警報を行います。

	振動センサー		空気圧センサー
	弱い衝撃（警告）	強い衝撃（警報）	ドア開（警報）
メインユニット サイレン	「ピロピロピロ」が3回～6回鳴ります。 （※ヒント参照）	「ピロピロピロ…」が約30秒間鳴ります。	「キューーン…」が約30秒間鳴ります。
メインユニット 威嚇LED	早い全点滅を約2秒間します	早い全点滅を約30秒間します。	

📖 ヒント

弱い衝撃は連続して検知（警告後15秒以内に再検知）すると、警告音「ピロピロピロ」が3回、4回、5回とステップアップして警告を行います。5回以降は全て6回「ピロピロピロ」を鳴らして警告を行います。また迷惑防止機能（⇒P24）を使用すると5回目以降の警告をキャンセルします。

応用操作

設定方法

本製品リモコン操作で各機能の設定を変更することができます。

※ 警戒モード設定中および充電中は変更できません。

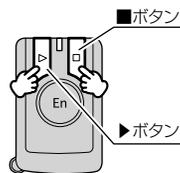
- 1) 警戒モード解除中、各機能に対応するリモコンのボタンを **5秒長押し**すると、各機能の設定モードに入ります。

- ・ ボタンを押し続けると、リモコンのLED が点滅⇒点灯へと変わります。
- ・ メインユニットから「ピロリロ」 と音が鳴り、威嚇LED が点灯します。

設定項目	操作するボタン	参照ページ
警戒パターンの設定	En ボタン + ■ボタン	P20
衝撃センサーの感度設定	▶ボタン	P22
空気圧センサーの感度設定	■ボタン	P22
威嚇LED の点滅パターンの設定	▶ボタン + ■ボタン	P23
充電中のLED 表示の設定	En ボタン + ▶ボタン + ■ボタン	P23
通常モード / 輸入車モードの設定	En ボタン + ▶ボタン	P28

- 2) 【▶ボタン】または【■ボタン】を押すと、リモコンのLED が点滅し、設定内容が変わります。

- ・ ▶ボタン：順送り
- ・ ■ボタン：逆送り



- 3) 変更後【En ボタン】を **5秒長押し**することで設定を登録します

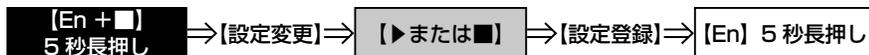
- ・ メインユニットから「ピロリリー」と音が鳴り、メインユニットの威嚇LED とリモコンのLED が消灯します。



📖 ヒント

- ・ リモコンの操作を行わないと約 30 秒後に設定モードが終了します。なお、この時変更した内容は登録されません。再度設定を行ってください。
- ・ メインユニットから「ブッ」 と音がした場合は内蔵バッテリーの充電が無くなっています。充電後、再度設定を行ってください。

警戒パターンの変更

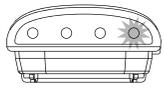
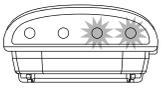
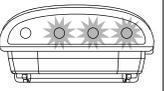
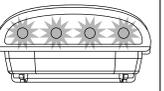


※ 詳しい設定操作は P19 を参照ください。

本製品は警戒パターンの設定を変更することにより、パッシブ機能の ON/OFF (⇒ P21) と、メインユニットサイレン音の ON/OFF (⇒ P21) を変更することができます。

※ 警戒モード設定・解除時の確認音を OFF することはできません。

設定内容

警戒パターン①	警戒パターン②	警戒パターン③ 【初期設定】	警戒パターン④
			
「ド」	「ドレ」	「ドレミ」	「ドレミファ」
パッシブ機能： ⇒ ON サイレン音： ⇒ ON	パッシブ機能： ⇒ ON サイレン音： ⇒ OFF	パッシブ機能： ⇒ OFF サイレン音： ⇒ ON	パッシブ機能： ⇒ OFF サイレン音： ⇒ OFF

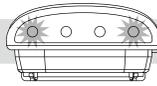
自動で警戒モードに設定する (パッシブ機能)

本製品はリモコン操作による警戒モードの設定以外に、自動的に警戒モードの設定を行う、パッシブ機能を搭載しています。

- 1) シガープラグコード接続時にキーを OFF にします。
 - ・メインユニット威嚇 LED が約 30 秒間順次点滅します。
 - ・メインユニットサイレンから「キューーン♪」と音がします。
 - ・威嚇 LED が全点滅してキャンセルタイマーが開始されます。(約 10 秒間)
 - ・威嚇 LED の点滅パターンが切替わり警戒モードとなります。



シガープラグコードを
接続した状態でキーを OFF



約 30 秒間 LED が両端点灯
⇒中央 2 灯点灯を繰り返す



📖 ヒント

- ・威嚇 LED が約 30 秒間順次点滅している間に警戒モードの解除操作 (【En ボタン】 ⇒ 【■ ボタン】) を行う事で、パッシブ機能をキャンセルすることができます。
- ・エンジンを停止してもシガーソケットの電圧が 0V にならない車は、シガープラグコードを抜いた時点で警戒モードに自動で設定されます。

サイレン音の ON/OFF 設定

サイレン音を OFF に設定した場合、異常を検知した場合でもメインユニットからサイレン音は鳴らず、威嚇 LED による警報のみになります。

応用操作

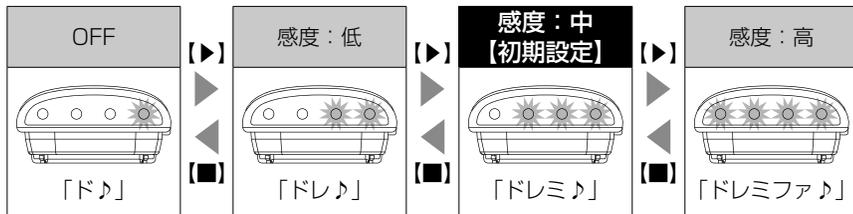
衝撃センサーの感度を変更する

【▶】5秒長押し⇒【設定変更】⇒【▶または■】⇒【設定登録】⇒【En】5秒長押し

※ 詳しい設定操作はP19を参照ください。

リモコン操作により、衝撃センサーの感度を4段階に調節することができます。

設定内容



ヒント

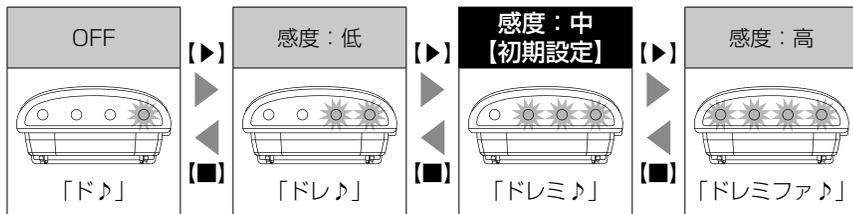
- ・強い衝撃と弱い衝撃の感度は連動して設定されます。(個別に設定することはできません)
- ・駐車場周辺の環境や車両に合わせて衝撃感度の設定を行ってください。

空気圧センサーの感度を変更する

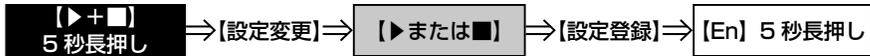
【■】5秒長押し⇒【設定変更】⇒【▶または■】⇒【設定登録】⇒【En】5秒長押し

※ 詳しい設定操作はP19を参照ください。

リモコン操作により、空気圧センサーの感度を4段階に調節することができます。

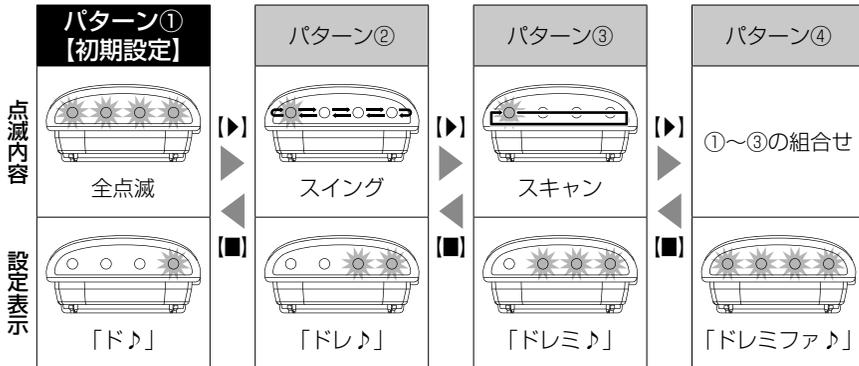


威嚇 LED の点滅パターンを変更する



※ 詳しい設定操作は P19 を参照ください。

リモコン操作により、威嚇 LED の点滅パターンを 4 種類から選択することができます。

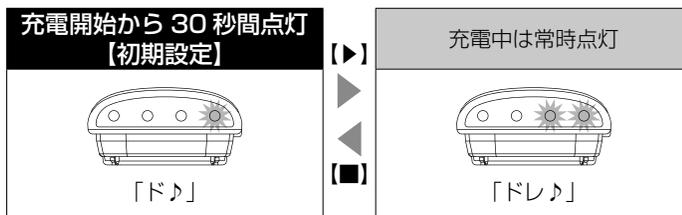


充電中の LED 点灯表示を変更する



※ 詳しい設定操作は P19 を参照ください。

メインユニットは充電中、威嚇 LED（中央 2 灯）が点灯します。その威嚇 LED 表示をリモコン操作により、『充電開始から 30 秒間点灯』 / 『充電中は常時点灯』から選択することができます。



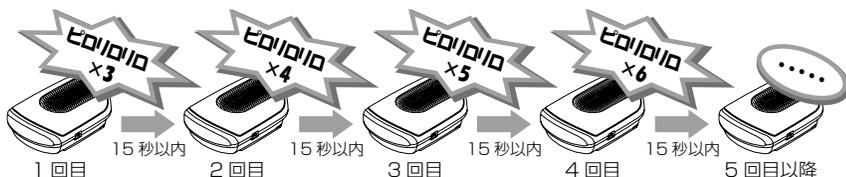
ヒント

「常時点灯」設定時、内蔵バッテリーが満充電となっても威嚇 LED は消灯しません。

応用操作

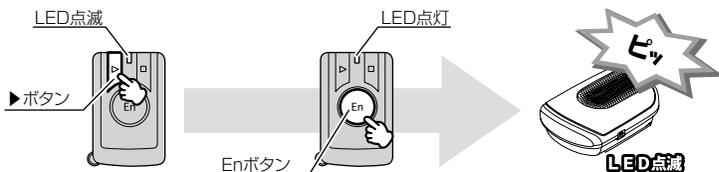
迷惑防止機能

迷惑防止機能を使用することで、15秒以内に連続して弱い衝撃を検知すると、5回目以降の警告をキャンセルすることができます。また4回目の警告までサイレン音をステップアップして警告します。



操作方法

- 1) 【▶ボタン】を押し、LEDが点滅中に、【Enボタン】を押します。(通常の警戒モードの設定方法は【Enボタン】⇒【▶ボタン】)
 - ・リモコンのLEDが点灯します。
 - ※リモコンの電池が無くなってくると点灯が早い点滅に切替わります。
 - ・メインユニットサイレンから「ピッ」と音が鳴ります。
 - ・威嚇LEDが全点滅してキャンセルタイマーが開始されます。(約10秒間)
 - ・威嚇LEDが設定したパターンで点滅(⇒P23)し、警戒モードとなります。



※ 解除する時は通常の警戒モードの解除と同様の操作(【Enボタン】⇒【■ボタン】または【■ボタン】⇒【Enボタン】)を行ってください。メインユニットから「ピピッ」と音が鳴り、解除されます。

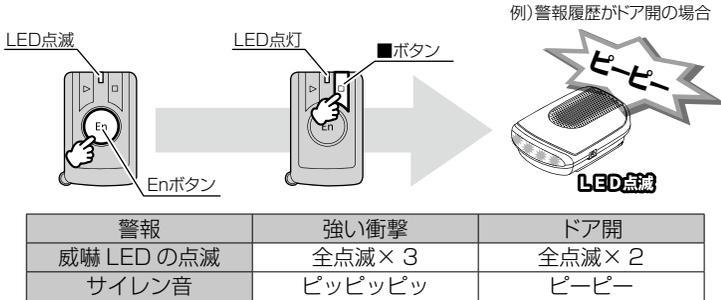
📖 ヒント

- ・キャンセルタイマー中は、威嚇LEDが約10秒間全点滅します。このとき、各種センサーは異常を検知しません。
- ・キャンセルタイマー中に再度リモコンで警戒モードの設定操作を行うと、10秒間待たずに警戒モードに移行します。
- ・【Enボタン】を押した後、【▶ボタン】を押す事で通常の警戒モード(⇒P15)に移行することができます。
- ・内蔵バッテリーの充電がなくなってくると、警戒モードの設定/解除時の動作が変化します。(⇒P16)

警報履歴を確認する

本製品は警報（強い衝撃とドア開）の履歴をメインユニットに記憶します。リモコン操作により、警報履歴を確認することができます。

- 1) 警戒モード解除中に、再度警戒モードの解除操作（【En ボタン】⇒【■ボタン】）を行います。
- 2) メインユニットに警報履歴がある場合は、サイレン音と威嚇 LED を下記表のように表示します。履歴がない場合は反応しません。



ヒント

- ・強い衝撃とドア開の警報の両方が履歴にある場合、強い衝撃、ドア開を順に履歴表示します。
- ・リモコン操作による警戒モードの設定や、自動で警戒モードに設定するパッシブ機能により警戒モードに設定されると、警報履歴はクリアされます。それ以外の操作では履歴は消えません。
- ・メインユニットは警報を行った時点で履歴として記憶します

緊急時の警報音停止方法※シガープラグコード接続時のみ

リモコンの紛失や電池切れなどの各種トラブルにより手動で警報音を停止させる場合は、以下の方法を行ってください。

- 1) キーを ACC ポジションにすることで解除できます



ヒント

キーを ACC ポジションにして停止した場合は、警戒モードが解除されます。ただし、警戒パターンの設定（⇒P20）にて、自動で警戒モードに設定するパッシブ機能を ON に設定している場合、キーを OFF にすると再度警戒モードに自動で設定されます。

付録

輸入車モード

エンジンを停止しても、シガーソケットに 12V が通電している車両でも、本製品を簡単に使用できるように省電力で作動する機能です。

ただし車両のバッテリーを保護するため、通常モード時と下記仕様が異なります。

変更される機能	輸入車モード	通常モード
自動で警戒モードに設定する パッシブ機能 (⇒ P21)	使用不可	使用可能
通電 (充電) 時のリモコン操作	操作可能	操作不可
警戒モードの設定 (⇒ P15,24)	常に誤動作キャンセル 機能あり	誤動作キャンセル機能の あり / なし選択可能
連続警報回数	強い衝撃およびドア開： 合わせて 10 回まで 弱い衝撃：40 回まで	制限無し
通電 (充電) 時の LED 点灯表示 (⇒ P23)	30 秒間点灯	30 秒間点灯または 常時点灯から選択可能

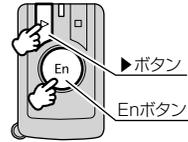
⚠ 注意

- 車両のバッテリー上がりを防ぐため、必ず 1 週間に 1 度はエンジンを始動して車両バッテリーを充電してください。
- 使用する際は必ず、メインユニットの専用バッテリーを取り外して使用してください。
(通常モードから輸入車モードに設定変更を行う際は専用バッテリーを接続していないと操作できません)

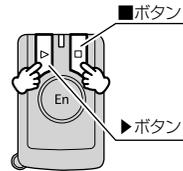
設定方法

- 1) 警戒モード解除中にリモコンの【En ボタン】と【▶ボタン】を**5秒長押し**します。

- ・リモコンのLEDが点滅⇒点灯へと変わります。
- ・メインユニットから「ピロリロ♪」と音が鳴り、威嚇LEDが点灯します。

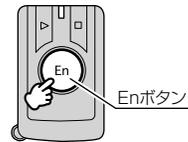


- 2) 【▶ボタン】または【■ボタン】を押すと、リモコンのLEDが点滅し、設定内容が変わります。

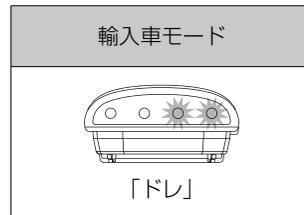


- 3) 変更後【En ボタン】を**5秒長押し**することで設定を登録します

- ・メインユニットから「ピロリリート」と音が鳴り、威嚇LEDが消灯します。
- ・メインユニットから「ブブツ」と音がした場合は内蔵バッテリーの充電が無くなっています。充電後再度設定を行ってください。



LED表示
および
サイレン音

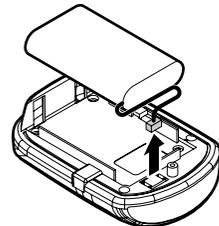


使用方法

- 1) 設定変更後、メインユニットから専用バッテリーを取り外します。

⚠ 注意

必ずメインユニットから専用バッテリーを取り外してください。車両バッテリー上がりや故障の原因となります。



- 2) メインユニットにシガープラグコードを接続し、使用します。

※メインユニットから専用バッテリーを取り外しているため、常時通電していません。

付録

こんなときは？

自動で警戒モードに設定するパッシブ機能について (⇒ P21)

Q. エンジンスターターと併用したい。

- A. エンジンスターターと併用する場合、自動で警戒モードに設定するパッシブ機能を ON にして使用してください。警戒モード設定中にエンジンがかかる (ACC が ON になる) ことで警戒モードが解除され、アイドリングが終了すると、自動で警戒モードに設定するパッシブ機能により、再度警戒モードに設定されます。

Q. 一部エンジンスターターでエンジン始動しても ACC が ON にならない場合は？

- A. ACC が ON にならないとセキュリティは解除されないため、車に乗り込む前に必ずリモコンにてセキュリティを解除してください。
※ エンジン始動による振動で本製品が弱い衝撃を検知することがあります。

Q. ターボタイマー装着車に取り付けると？

- A. 自動で警戒モードに設定するパッシブ機能を ON にしていると、ターボタイマー終了後に自動で警戒モードに設定されます。
※ ターボタイマー作動中は警戒モードに設定できませんのでご注意ください。

Q. 自動で警戒モードに設定するパッシブ機能を一時的 (荷物の積み下ろしやガソリンの給油中等) に使用したくない場合は？

- A. キーを OFF 後、リモコンで警戒モード解除操作 (【En ボタン】⇒【■ボタン】または【■ボタン】⇒【En ボタン】) を行うことで警戒モードに設定されません。

メインユニット充電中の LED 点灯表示について (⇒ P23)

Q. 夜間走行中等、メインユニット充電中の LED 表示が眩しい。

- A. 初期状態から『30 秒間点灯』に設定を変更することで、充電開始から 30 秒間点灯し、その後消灯した状態で走行することができます。

お買い上げ時の設定一覧

設定項目	設定内容	参照ページ
警戒パターン	パターン③ 自動で警戒モードに設定する パッシブ機能：OFF サイレン：ON	P20
衝撃センサー感度	感度：中	P22
空気圧センサー感度	感度：中	P22
威嚇 LED 点滅パターン	パターン① LED 全点滅	P23
メインユニット充電中の LED 点灯表示	充電開始から 30 秒間点灯	P23
通常モード / 輸入車モード	通常モード	P28,29

故障かな？と思ったら

症状	確認内容	対処方法	参照ページ
メインユニットの充電ができない	・メインユニット用専用バッテリーのコネクタが抜けかかっていませんか？	・メインユニット用専用バッテリーのコネクタを確実に接続してください。	P9
	・シガープラグコードのヒューズ(1A)が切れていませんか？	・ヒューズを交換してください。	—
	・車両シガーソケットから 12V が出力されていますか？	・キーを ACC もしくはイグニッションにしてください。	P10,11
リモコンの操作ができない	・リモコンの電池が消耗していませんか？	・新しい電池と交換してください。	P7
警戒モードに設定できない。	・リモコンを手等で包み込んでいませんか？	・リモコンを正しく持って操作してください。	P8
	・リモコンの操作範囲内にいますか？	・リモコンの操作範囲は半径最大約 8m 以内です。	P8
	・リモコンで操作してもメインユニットが反応しませんか？	・リモコンの再登録を行なってください。	P26
	・メインユニット用専用バッテリーのコネクタが抜けかかっていませんか？	・メインユニット用専用バッテリーのコネクタを確実に接続してください。	P9
	・メインユニットが充電中ではないですか？	・充電中は警戒モードに設定できません。キーを OFF にして設定してください。	P10
	・各機能の設定を変更中ではないですか？	・各機能の設定を変更中は警戒モードに設定できません。変更を終えてから警戒モードに設定してください。	—
	・メインユニット用専用バッテリーの電池容量が低下していませんか？	・メインユニット用専用バッテリーを充電してください。	P10,11
	・リモコンが設定モードに入っていないませんか？	・En ボタンを 5 秒長押しし、設定モードを終了してください。	—
	・リモコン同調（登録）モード中ではありませんか？	・リモコン同調（登録）モード終了後、警戒モードに設定してください。	P26
サイレン音が鳴らない	・サイレン音の設定が OFF になっていませんか？	・警戒パターンを設定を変更してください。	P20,21
リモコンで警戒モードの設定/解除操作を行うとメインユニットから「ブツ」/「ブッブツ」と音が鳴る	・メインユニットの内蔵バッテリー電圧が低下しています。	・メインユニット用専用バッテリーを充電してください。	P10,11

付録

製品仕様

メインユニット

警報音圧	最大 105dB (正面 10cm)
動作温度範囲	- 20℃～+ 80℃
電源電圧	12V 車専用
消費電流	急速充電時：400mA 以下 トリクル充電時：80mA 以下 警戒時：平均 2.5mA 以下 (通常モード時) 平均 6mA 以下 (輸入車モード時) 警報時：最大 130mA (通常モード時) 最大 75mA 以下 (輸入車モード時)
ケース寸法	76.5 (W) × 63 (H) × 28 (D) mm
重量	88g (専用バッテリー含む)

リモコン

送信出力	微弱電波
送信周波数	318MHz 帯
動作温度範囲	- 10℃～+ 60℃
使用電池	リチウム電池 CR2025 × 1
電池寿命	約 1 年 (1 日 8 回の操作)
ケース寸法	28 (W) × 44 (H) × 12.5 (D) mm
重量	12g (電池含む)

※ 本製品の外観および仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。予めご了承ください。

お問合せ先

KATO-DENKI

加藤電機株式会社 お客様サポートセンター

TEL 0569-26-0088 FAX 0569-26-0089

URL:<http://www.kato-denki.com>

営業時間：月～金 10:00～17:00 (祝日、年末年始等は除く)

※お問い合わせの際は、ホーネットの型式とシリアル番号を確認させていただきますので、あらかじめ準備ください。

アフターサービスについて

保証書

- ・保証書は、必ず「購入年月日」などの記入をご確認のうえお受け取りになり、保証内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- ・保証書に、購入年月日を証明するものが無いものは保証対象外とさせていただきます。

保証期間

ご購入日から1年間です。

対象部分：メインユニット・リモコン・シガープラグコード

※ ただし、付属品（メインユニット専用バッテリー・リモコン用ボタン電池）等の消耗品は除く。

※ シガープラグコードを改造した場合は、保証対象外になります。

修理を依頼されるとき

「故障かな？と思ったら」（⇒P31）を参照し点検をしていただいても、なお症状が改善されない時は販売店へご相談いただき故障状況をなるべく詳しくご連絡ください。

・保証期間内の場合

恐れ入りますが、購入先に保証書をそえて、製品をご持参ください。保証規定に従って修理いたします。

・保証期間が経過している場合

購入先にまずご相談ください。修理によって機能が持続できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

・本製品の故障による代替品の貸出しは当社では一切行っておりません。

・本製品の取り付け・取り外し等にかかる全ての費用は一切負担致しません。

アフターサービス等について

アフターサービス等についてご不明な点は購入先にお問い合わせください。

リモコンを紛失または破損・水没

・リモコンを紛失や破損した時は、購入先にお問い合わせ、購入してください。

・新しいリモコン（オープン価格）を購入された場合は、「リモコンの同調（登録）」（⇒P26）をご覧ください、リモコンの再登録を行ってください。

本書にしたがって、正常な取り付け・接続・使用状態で製品に故障が生じた場合は、「保証書」の保証規定にしたがって修理いたします。ただし、上記以外の取り付け・接続・使用状態による車の故障や事故等の付随的傷害・損害の保証については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

保証規定

保証期間：ご購入日より 1 年間

対象部分：メインユニット、リモコン、シガープラグコード

(メインユニット専用バッテリー、リモコン用ボタン電池を除く)

- 1：本製品は高度の品質管理を致しておりますが、保証期間中に取扱説明書の注意に従った使用状態で万一故障が発生した場合には保証規定に従い、お買い上げの販売店または当社修理窓口が有償または無償にて保証致します。
- 2：保証期間内に故障して修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお持ち込みください。また、当社修理窓口へ直接製品をお送り頂く場合、発生する送料はお客様のご負担となります。修理をご依頼になる際には、保証書を必ずご提示ください。保証書のない場合には保証対象外（有償）となります。
なお、修理のために取り外した不具合品は、加藤電機株式会社の所有となります。
- 3：製品の回収、取り付けの際に伴う諸費用、代車費用、内装新品交換費等はお客様負担となります。
- 4：ご購入、ご購入後などで保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には当社修理窓口まで製品をお送りください。
- 5：保証期間内でも次の場合には保証対象外（有償）となります。
 - ・ 使用上、取付上の誤り、不注意による故障および損傷
 - ・ 不当な修理、改造による故障および損傷
 - ・ お買い上げ後の取付場所の移動、落下、水分・油分の浸入、冠水、熱、異常電圧による故障および損傷
 - ・ 火災、地震、風水害、落雷、ガス害その他天変地変、公害、塩害などによる故障および損傷
 - ・ 自動車事故により発生した故障および損傷
 - ・ 消耗品（電池、各部ゴム、テープ、ヒューズなど）の交換
 - ・ リモコンの増設の場合
 - ・ 本保証書のご提示が無い場合
 - ・ 本保証書に購入年月日、お客様名、販売店名等の所定の記入事項が未記入、不明あるいは文字を書き換えられた場合
 - ・ 故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合
 - ・ シガープラグコードを改造された場合
- 6：保証規定は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)

この保証書は、本書に明示した、期間、条件のもとにおいて無償保証修理をお約束するものです。従ってこの保証規定によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間を過ぎている場合、修理できる製品については、ご希望により有償で修理させていただきます。

発売元 **KATO-DENKI** 加藤電機株式会社
〒475-8574 愛知県半田市花園町 6-28-10

故障・修理内容詳細記入欄

1. 取り付け状況

車種 []

年式 []

型式 []

その他オプション品番

[]

2. 使用状況

①使用期間 [約 年 ヶ月]

②症状（発生頻度等、できるだけ具体的に記入してください）

[]

3. その他気になった点がございましたらご記入ください。

[]